

TIFAの2学期 スタート

酷暑が一転して、小雨模様の9月1日、TIFA土曜教室の2学期が開講しました。なんと新受講生が9名(中国籍:5名、ネパール籍、



フィリピン籍、インド籍、タンザニア籍が各1名)参加し、当日の受講生は合わせて34名と盛況で、ボランティア(保育担当1名、見学者1名)27名で担当しました。

夜間の教室の為、受講生は仕事を持った人、学生が比較的多く、ボランティアも現役が数人、学生が1人おり、三つの教室は熱気ムンムンの授業風景でした。受講生の日本語、日本文化を理解したいという熱意に、ボランティアは各々のキャリアを生かして、お互いに楽しく、熱心にお手伝いをしている様子でした。

2つ目は、救護体験でAEDの扱い方を学び、上半身の人形を使って心臓マッサージやAEDの使い方を練習しました。AEDは音声案内は日本語のみですが、扱い方が分かれば簡単に利用できるとのこと。確かに扱いは難しくはないですが、やってみないと分からないことでした。



3つ目は、地震体験でした。地震が発生した時の注意点や行動について教えていただき、震度6や7の地震を体験しました。体験は短い時間でしたが、震度7は阪神・淡路大震災での揺れでした。震度7では机の下に隠れていても机ごと揺れ、あらためて地震の怖さを思い知りました。



体験して分かることがあると思いますので、機会がありましたら、防災館に行ってみて下さい。

西砂教室夏期研修会

8月25日(土)、外部講師をお招きして研修会を行いました。日本語教育の専門家からお話を聞くことで、今後の学習支援活動の参考にしたいと、この研修会を開きました。

講演の概要

テーマ : 地域日本語教育の展開と多文化共生社会
講師 : 野田広氏 国立国語研究所 准教授

今回の研修会で日本語能力を高めるための支援体制の重要性や多文化共生への行政の在り方への提言を聴講し、大変参考になりました。西砂教室の学習者のほとんどは海外からの技能実習生です。かなりきつく、しかも変則的な勤務時間の仕事をしながら、滞在期間の3年間ですこしでも日本語能力を高めようと努力しています。

西砂教室では学習者のニーズをくみ取り、彼らが帰国するまでに、より高い日本語能力試験の認定書を持ち帰れるようにしてあげたいと思っています。



防災学習

7月21日(土)に防災学習がありました。今回は13:30から予定されていた市役所での講習会は中止となり、防災館のみの学習となりました。参加者は総勢で36名、内6名が子供で、最近、北大阪での地震があり、防災の意識が高いのか、多くの方が参加しました。

防災館では3つのことについて、学び、体験をしました。

1つ目は、消火器の扱い方を学び、実際に消火器を使ってみました。小学生位の子供も参加して、映像の火事に対してでしたが、



消火器を使った初期消火を体験しました。消火器のホースの扱いで吹き出し口付近をもって、振らないというのが難しく、実際に体験して分かることでした。

エチオピア見聞記

土曜教室 味香建夫

私は2010年から2012年にかけて、JICAのエチオピア南部諸民族州での農産物のパイロット支援事業の業務に従事しました。その際に見聞したエチオピアの人たちの生活事情について列記します。

1. 首都アジスアベバは標高2455mの高地にあり、アフリカなのに涼しい気候です。アフリカで唯一独立を貫いた国です。コーヒーのモカの生産地として有名です。

2. テフという植物の実を粉にして水で溶き、一週間乳酸発酵させたものを直径70cm程のフライパンに薄く延ばしてクレープ状に焼いた「インジェラ」は彼らの主食。やや酸っぱい味が出て、大皿に「インジェラ」を敷き、その上に山羊肉、カレー風スープ、豆を載せて一緒に食べます。



エチオピアの主食「インジェラ」

3. 国民の80%近くが農業に従事している最貧国のエチオピア。田舎の一般的な家はマッシュルーム型ハウスです。出入口は1ヶ所窓がない為、昼間でも中は真っ暗です。近年、輸出作物のコーヒー、ゴマ、乾燥生姜の生産農家が裕福になって、トタン屋根の家を建てるのがブームになっていました。



マッシュルーム型ハウス

4. エチオピア人は川沿いに住みません。殆どの人が山の中腹や頂上付近に住みたがります。マラリアにかからないように、蚊の少ない高地で暮らしたい為です。川から遠く、家の周りでは水が出ません。雨水を溜める習慣が無く、生活用水は毎日の水汲みで賄うしかありません。水の出る井戸は村に数か所しかないため、水場で黄色いポリタンクを持って並んでいる女性や子供の列をよく見かけました。



ハウス群



水飲み場

5. 毎日曜日、エチオピア正教の教会には敬虔な信徒が沢山ミサに集まってきます。このため、教会周辺の道路は数時間渋滞し、普段は5分位で抜けられる道が1時間以上抜け出せなくなります。

6. エチオピア正教の信徒はイースター（復活祭）までの55日間断食をします。この間、信徒は肉や卵を口にできず、1日1食の菜食者となります。なお、一般の信徒は年間180日位の断食をします。週2日（水曜と金曜）は断食日で、ローカルの料理屋に行くと、水曜日と金曜日は肉がないと言われ、町の肉屋でも肉は販売していません。また、イースター明けの日には町のあちこちに、屠殺された山羊の毛皮が山積みになっていて驚きました。

7. エチオピア暦のカレンダーは30日を1ヶ月とする12ヶ月と、残りの5日を1ヶ月とする合計13ヶ月からなっています。また、時間も違って、朝6時はエチオピアの12時で、昼の12時は6時です。現地での約束日時はグレゴリオ暦であるか確認がいつも必要です。因みに、エチオピア暦の新年は毎年グレゴリオ暦の9月11日です。

8. ローカルのホテル宿泊では最上級のホテルでも南京虫に注意して殺虫剤の持参は必須です。南京虫は夜行性で、夜暗くなると出没して人間などの動物の血を吸いに現れ、噛まれたら皮膚に直線状に点々と紅斑ができ、その腫れとかゆみは一週間以上消えずに困りました。だから警告です。「蚊帳などは虫の有無を注意深く調べなさい。」

受講生の紹介（土曜教室）

氏名：劉 娜（リュウ ナ） 1988年生まれ、女性 30歳



出身地：中国の黒竜江省

趣味：読書、ランニング、
バドミントン

自己紹介：ハルビン工業
大学でロシア語を専攻し
ました。大学院卒業後、
ハルビン銀行に就職して、

ロシア側の顧客向けの金融業務を担当しました。

主人が日本で働いていて、一緒に暮らしたいから、2017年7月に来日しました。主人、娘と日野市に住んでいます。娘が生まれて9カ月になったばかりで、今は主婦として娘の面倒を見ています。

日本語の勉強について：

子供連れだと日本語学校へ行けなくて、平日の夜と週末に日本語教室に通っています。日本語が、中国と同じ漢字を使っていて、漢字を見れば大体の意味を理解できるが、読み方が違って発音を覚えるのが大変です。また、日本語の文法が、中国語、また大学で専攻したロシア語と全然違って、最初はなかなか理解できなくて難しかったです。教室の先生たちはとても優しく、親切に説明してくれて大変助かりました。一番重要なのが会話だと思いますが、日本人の友達がいませんから、練習のチャンスも少なく困っています。将来、日本で就職したいと思っており、日本語がどんどん上手になる様に頑張ろうと考えています。

氏名：張 玉麗（チョウ イリ） 女性 40歳代

出身地：中国 黒竜江省

日本の住所：立川市

来日時期：約20年前

家族は夫と息子と娘がいます。子供たちは二人とも日本で小学校から入り教育を受けているので日本語はペラペラで家族同

士は日本語で話しています。趣味で夜のサークルに入って1年、お友達ができました。

日本へ来てから一度も中国に帰ったことがないので最近の中国のことはわからない。日本語は暑い、むし暑い、寒い、涼しい、肌寒いなど言葉が多いのでとても難しいです。



氏名：ファム ティ フォン タオ 女性 20歳代

出身地：ベトナム ハイズン省

日本の住所：立川市

来日時期：2016年4月

大学を卒業してすぐ日本に
来ました。食品製造の会
社で働いています。家族は
ベトナムに両親と妹がいま

す。スポーツが好きで学生の頃はバレーボールをしていました。サッカーもします。友達と話すことが好きです。ベトナムは漢字があるけれど今はほとんど使いません。また雨の音をザーザーというような表現はありません。日本は漢字が多くて難しいです。また日常会話と教科書の言葉が違います。



受講生の紹介（西砂教室）

氏名：チャーメラ サンドルワ 男性 20歳代



出身地：スリランカ

日本の住所：立川市

来日時期：2016年10月

スリランカのコロomboから
来ました。両親と姉が
二人います。日本では塗
装の仕事をしています。
好きなスポーツは16歳か

ら始めたクリケットです。クリケットはイギリス生まれのスポーツで、スリランカではとても人気があります。

うまく言えないけど本当に楽しくて好きです。日本の一番いいところはみんながよくルールを守ることです。仕事は忙しいですが日本語の勉強も頑張っとうまくなりしたいと思います。

氏名：ジェーン 女性 10歳代

出身地：フィリピン アゲレス

日本の住所：立川市

来日時期：2016年

私の好きな動物は犬です。
学校では毎日友だちと話
したり遊んだりします。

いっしょにプールに行くこ

ともあります。好きな教科は美術です。

家族はお父さんとお母さんとお姉さんと弟です。お姉さんと弟と時々けんかします。趣味は絵をかくことです。動物とか人を描きます。私の夢は画家になることです。

日本語の会話は得意ですが漢字は苦手です。



西砂教室 夏の交流会

6月30日TIFA西砂教室夏の交流会がボランティア16名、受講生10名計26名の参加で実施されました。

まずは冷たい流しそうめんを喉をうるおし、大きめの特性おにぎりでおなかをいっぱいにしたところで童謡夕焼け小焼けと七夕様を練習して合唱、みんな童心にかえて大きな声で歌っていました。ミニゲーム（イス取りゲームと伝言ゲーム）ではボランティア、受講生共々ワイワイガヤガヤ大騒ぎでお互いの親睦を深めることが出来ました。

その後ベトナムの受講生による月九（げっく）主題曲の独唱とベトナムの歌も披露されて楽しい内容の交流会になりました。



木曜教室 ランチパーティー

7月19日に木曜教室恒例のランチパーティーが行われました。例年のない猛暑の中を、日本語教室に通い続けた受講生とボランティアが、互いに頑張ったご褒美に、それぞれの一品を持ち寄って楽しいランチパーティーを行いました。

母国の自慢の家庭料理が並び、テーブルを囲んでレシピを交換したり、料理の味の感想を語ったり、教室が分かれているのでなかなか話す機会がなかった人たちと、同級生として、学習する教室のときとは全く違う雰囲気の中で交流を楽しみました。



諏訪神社例大祭 お神輿（みこし）

8月26日、立川青年会議所からのお誘いにより諏訪神社例大祭の神輿（みこし）かつぎに参加しました。TIFAからの参加者は受講生24名、日本人ボランティア6名でした。本当に暑い日でしたが、途中棄権する人もなく楽しむことができました。受講生達は貴重な体験をすることができて喜んでいました。立川

青年会議所の皆様、町内会の皆様、本当に有難うございました。また、来年も誘って戴ければ嬉しいです。



TIFA会員動向

【入会者】

木曜教室、土曜教室、西砂教室：なし

【退会者】

木曜教室、土曜教室、西砂教室：なし

【休会者】

木曜教室、西砂教室：なし

土曜教室：阿部 祐子（6月）

（7月号で退会者と掲載しましたが、間違いで休会者に訂正します）

今後の予定

- ・土曜教室ボランティア研修会：10月予定
- ・世界ふれあい祭りバザー：11月3日、4日
- ・土曜教室スピーチ大会：11月予定

連絡

立川国際友好協会ホームページ
<http://tifa-class.net/>

TIFA企画ホームページ
<http://tifa-k.net>



TIFA会報には掲載していない行事や数多くの写真が掲載されています。ぜひご覧ください。